

2026年度 実践型/実践力養成型インターンシップ インターンシップフェア



1

第1回フェア

日時：6月22日(月) 18:15~20:15

場所：地域創生・国際交流会館5階

フューチャーセンター『A.BA』

第2回フェア

日時：6月24日(水) 18:15~20:15

場所：地域創生・国際交流会館5階

フューチャーセンター『A.BA』

※1回目、2回目ともに内容は同一です。

※いずれにも参加できない場合は個別説明の場を設けます。

お申し込み方法/締切

参加希望の方は
こちらのフォームに
必要事項を入力してください。

申込締切：6/19(金)



URL:

<https://forms.gle/B3vsVG7FuGqk6qCR8>

お問い合わせ

徳島大学COC+R事業事務局
常三島キャンパス 地域創生・国際交流会館3階
Tel ; 088-656-9885
Mail ; siukawa3@tokushima-u.ac.jp
担当 ; 川崎、松本



実践型 / 実践力養成型インターンシップとは

徳島県内の企業・自治体が抱える“経営課題”“地域課題”に対して、受入先の担当者様と学生チーム(学部・学年混合)が中・長期にわたり協働して課題の解決を目指すプロジェクトベースのインターンシップです。インターンシップ先ごとに参加学生でチームを組み、プロジェクトの当事者である企業の社員の方や、現地で実践を行う自治体職員の方等と協働して課題の解決を図ります。県内企業の経営課題をプロジェクトテーマとして扱う「経営課題型」、県内自治体の地域課題をプロジェクトテーマとして扱う「地域課題型」等、様々な課題のプロジェクトを用意しています。

【単位認定・互換】 ※履修登録なしでの参加も可能です。

- ・教養教育科目「実践型インターンシップ」
- ・理工学部専門科目「実践力養成型インターンシップ」
- ・総合科学部専門科目「実践力養成型インターンシップ」
- ・生物資源産業学部「産業体験学習」との単位互換

スケジュール

月日	内容
6月22日(月)18:15~20:15	第1回インターンシップフェア ※要申込
6月24日(水)18:15~20:15	第2回インターンシップフェア ※要申込
6月26日(金) ~7月2日(木)	エントリーシート作成サポート インターンシップへの参加を検討しているが、どのプロジェクトが自分に合っているか不安な方や、初めてエントリーシートを書く方も多いかと思います。この期間中に教員やプログラムOB,OGの先輩方による、悩んでいる方への相談や、エントリーシート作成に向けたアドバイスが得られるプログラムを用意します。詳細はインターンシップフェアにて案内します。
7月3日(金) ~7月8日(水)	エントリーシート添削 & 面談準備講座 エントリーシートの最終確認と、受入先の面談に向けてのアドバイスを実施します。詳細についてはインターンシップフェアにて案内します。(受講を希望している方は必ず参加してください。)
7月9日(水)12:00	エントリーシート提出締め切り
7月13日(月)~7月23日(木)	マッチング (受入担当者との面談)
~7月30日(木)	選考結果発表 (インターン先決定)
8月上旬 4コマ程度	事前研修 インターンに必要なビジネススキルの学習やプロジェクトに臨むにあたっての計画づくりなどを行います。
8月中下旬~	インターンシップ開始
1月23日(土)13:00~18:00	最終報告会



受入先企業の方のメッセージ



株式会社NDK 代表取締役
久米 智之

当社は2018年に初めて徳島大学さんのこのインターンシップ(以下ISP)に参加しました。半年近くにも及ぶISPは当社でも初めての経験でしたし、実は皆さんと同じく私たちも不安があったんですよ(笑)

このISPと他のISPの明確な違いは、**皆さんが得られる経験の質と量、目標とする成果物の完成度**が他と比較にならないくらい高い点です。企業の課題解決が成果物に設定されるため、参加企業も本気で関わります。学生のうちにこれほど濃い体験ができるISP、これほど素晴らしい経験ができる大学は他にないと思います。その分悩むことも辛いと感じることもあると思いますが大丈夫!一緒に取り組む仲間、頼れる先輩、そして大学の先生方やCOC+Rのみなさんが必ずあなたの傍にいてくれます。

ISPが終わった1年後、みなさんには心地よい達成感と仲間との絆、講義だけでは絶対に得られない経験と社会との**コネクションが残るはず**です。みなさんも「参加して良かった!」と必ず感じてもらえると思います。皆さんとお会いできることを私たちも楽しみにしています!

修了生よりメッセージ



経営課題型 修了生サポーター
IPPOo

私が実践型インターンシップで得られたことは、**企業や社会人、自分について知ったこと**です。社会人や多様な学部・学年の学生といったチームメンバーとの協働を通して、自分やメンバーの強みと課題を認識し、**全員が挑戦し、支援し合う**ことでプロジェクトを完遂できました。

私はその経験やスキルのおかげで、学業や就活な様々な場面において、現状の打破や理想を実現するための考え方を活かして、**前に進み続けています**。それに、挑戦をしてみると視野が広がり、**新しい自分の強みや課題に気付いて、さらに自分を知る機会になります**。

実践型インターンシップでは、企業や地域の課題について、多様なチームメンバーと半年間実践するからこそこの様々な機会・環境が用意されています。**皆さんの新しい一歩をお待ちしております!** 楠凜世(総合科学部4年)